

整備基準適合表（建築物）

年 月 日作成

施設の名称		主要用途	
施設の所在地			
記入者の氏名		電話番号	

(注)太枠の中を記入してください

整備項目	整備基準	設計内容	適合状況
1 出入口	(1) 直接地上へ通ずる出入口及び駐車場へ通ずる出入口（それぞれ1以上）	イ 幅は内法 80 センチメートル以上	内法幅 センチメートル 適・否
		ロ 戸は、自動開閉又は車いす使用者が円滑に開閉し通過できる構造	開閉方式 適・否
		ハ 車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けない	段差の有無 有・無 最大段差 センチメートル 適・否
		ニ 直接地上へ通ずる出入口には、ひさし、車寄せ上屋等を設置	ひさし等の有無 有・無 適・否
	(2) 不特定多数の者が利用する各室の出入口（それぞれ1以上）	イ 幅は内法 80 センチメートル以上	内法幅 センチメートル 適・否
		ロ 戸は、自動開閉又は車いす使用者が円滑に開閉し通過できる構造	開閉方式 適・否
ハ 車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けない		段差の有無 有・無 最大段差 センチメートル 適・否	
2 廊下等	(1) 廊下等	イ 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ	仕上材 適・否
		ロ 段を設ける場合は下記の構造 (イ) 手すりの設置 (ロ) 回り段を設けない。 (ハ) 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ	段の有無 有・無 手すりの有無 有・無 回り段の有無 有・無 仕上材 有・無
		(ニ) 識別しやすい色とし、かつ、つまずきにくい構造	色の区分 有・無
		(ホ) 上端に近接する廊下等及び踊場に注意喚起用床材を敷設	(平面図に敷設位置を記入)
		(イ) 幅は内法 120 センチメートル以上	内法幅 センチメートル 適・否
		ロ 廊下等の末端及び区間 50 メートル以内ごとに車いす転回スペースの確保	転回等の間隔 メートルごと 適・否
	(2) 1の(1)に定める各出入口から1の(2)に定める出入口に至る経路の廊下等（それぞれ1以上）	ハ 高低差がある場合は下記構造の傾斜路及び踊場又は車いす使用者用特殊構造昇降機を設置 (イ) 幅は内法 120 センチメートル以上（段併設の場合は 90 センチメートル以上） (ロ) 勾配は 12 分の 1 以下（傾斜路の高さ 16 センチメートル以下は 8 分の 1 以下） (ハ) 高さ 75 センチメートル以内ごとに踏幅 150 センチメートル以上の踊場設置	高低差の有無 有・無 段差解消の種類 有・無 内法幅 有・無 勾配 有・無 高さ センチメートルごと 踊場の踏幅 センチメートル 手すりの有無 有・無 仕上材 有・無
		(ニ) 手すりの設置 (ホ) 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ (ハ) 傾斜路の色は、踊場、傾斜路に接する廊下等と識別しやすいもの (ト) 傾斜路上端に近接する廊下等及び踊場に注意喚起用床材を敷設	色の区分 有・無 (平面図に敷設位置を記入)
		ニ 1に定める出入口、4に定めるエレベーター及び車いす使用者用特殊構造昇降機の出入口に接する部分を水平に	適・否

整備項目		整備基準	設計内容		適合状況
	(3) 直接地上へ通ずる出入口から受付等までの廊下等	イ 視覚障害者を誘導する床材の敷設又は音声誘導装置などの設置	・誘導用床材 ・音声誘導装置 ・その他の措置		適・否
3	階段（踊場を含む）	イ 手すりの設置	手すりの有無	有・無	適・否
		ロ 主たる階段には回り段を設けない	回り段の有無	有・無	適・否
		ハ 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ	仕上材		適・否
		ニ 識別しやすい色とし、かつ、つまずきにくい構造	色の区分	有・無	適・否
		ホ 上端に近接する廊下等及び踊場に注意喚起用床材を敷設	(平面図に敷設位置を記入)		適・否
4	昇降機	イ 直接地上へ通ずる出入口がない階を有する、床面積の合計が2,000平方メートル以上の施設には、下記構造のエレベーターを設置	エレベーターの有無	有・無	適・否
		(イ) かごの床面積は1.83平方メートル以上	かごの床面積	平方センチメートル	
		(ロ) かごの奥行きは内法135センチメートル以上	奥行き寸法	センチメートル	
		(ハ) かごの平面形状は車いすの転回に支障のないもの			
		(ニ) かご内に停止予定階及び現在位置を表示する装置を設置	装置の有無	有・無	
		(ホ) かご内に到着階及び戸の閉鎖を音声で知らせる装置を設置	装置の有無	有・無	
		(ヘ) かご及び昇降路の出入口の幅は内法80センチメートル以上	内法幅	センチメートル	
		(ト) かご内及び乗降ロビーには車いす使用者が利用しやすい位置に制御装置を設置	制御装置の有無	有・無	
		(チ) かご内及び乗降ロビーの制御装置（(ト)に規定する制御装置は除く）は、視覚障害者が円滑に操作できる構造			
		(リ) 乗降ロビーの幅及び奥行き内法150センチメートル以上	幅 奥行き	センチメートル センチメートル	
		(ル) 乗降ロビーに到着するかごの昇降方向を音声で知らせる装置又はかご内に戸が開いたとき昇降方向を音声で知らせる装置を設置	装置の有無	有・無	
5	便所	イ 下記構造の車いす使用者用便所を1以上設置(男女の区別がある場合は、それぞれ1以上)	車いす使用者用便所	か所	適・否
		(イ) 十分な床面積を確保し、かつ、腰掛便座、手すり等を適切に配置			
		(ロ) 車いす使用者用便所の出入口の幅は内法80センチメートル以上	内法幅	センチメートル	
		(ハ) 車いす使用者用便所の出入口の戸は、車いす使用者が円滑に開閉し通過できる構造	開閉方式		
		ロ 男子用小便器を設ける場合は、手すり付きの床置き小便器を1以上設置	設置数	か所	適・否
6	駐車場	イ 下記構造の車いす使用者用駐車施設を設置	全駐車台数	台分	適・否
		(イ) 1に定める駐車場に通ずる出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設置	車いす使用者用	台分 (配置図に位置及び経路を記入)	

整備項目		整備基準	設計内容	適合状況	
		(ロ) 幅 350 センチメートル以上 (ハ) 車いす使用者用駐車施設である旨の表示	幅 表示の有無	センチメートル 有・無	
		ロ 駐車施設の出入口から車いす使用者用駐車施設に至る駐車場内の通路は、7に定める敷地内の通路の(1)から(3)までに定める構造			適・否
7 敷地内の通路	(1) 敷地内の通路	イ 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ	仕上材		適・否
		ロ 融雪装置の設置(他の方法により除雪、排雪又は融雪の措置を講ずる場合は、この限りではない。)	・融雪装置の設置 ・その他の措置		適・否
	(2) 敷地内の通路に段を設ける場合	イ 手すりの設置	手すりの有無	有・無	適・否
		ロ 回り段を設けない。	回り段の有無	有・無	適・否
		ハ 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ	仕上材		適・否
		ニ 識別しやすい色とし、かつ、つまずきにくい構造	色の区分	有・無	適・否
	(3) 直接地上に通ずる各出入口から道等又は車いす使用者用駐車施設に至る通路(それぞれ1以上)	イ 幅は 120 センチメートル以上	幅	センチメートル	適・否
		ロ 高低差がある場合は下記構造の傾斜路及び踊場又は車いす使用者用特殊構造昇降機を設置 (イ) 幅は内法 120 センチメートル以上(段併設の場合は 90 センチメートル以上) (ロ) 勾配は 12 分の 1 以下(傾斜路の高さ 16 センチメートル以下は 8 分の 1 以下) (ハ) 高さ 75 センチメートル以内ごとに踏幅 150 センチメートル以上の踊場設置 (ニ) 手すりの設置 (ホ) 粗面又は滑りにくい材料の表面仕上げ (ヘ) 傾斜路の色は、踊場、傾斜路に接する道路等と識別しやすいもの	高低差の有無 段差解消の種類 内法幅 勾配 高さ 踊場の踏幅 手すりの有無 仕上材 色の区分	センチメートル センチメートルごと センチメートル 有・無 有・無	適・否
		イ 誘導用床材の敷設又は音声による視覚障害者誘導装置などの設置	・誘導用床材 ・音声誘導装置 ・その他の措置		適・否
		ロ 車路に接する部分、車路を横断する部分、傾斜路及び段の上端に近接する通路、踊場部分に注意喚起用床材を敷設	(配置図に敷設位置を記入)		適・否
(1) 車いす使用者用席		イ 固定式の観覧席等を設ける場合は、下記構造の車いす使用者用席を設置 (イ) 幅 90 センチメートル以上、奥行 120 センチメートル以上 (ハ) 床面は滑りにくい構造で仕上げ、かつ水平とする (ニ) 前方又は後方に車いす使用者が容易に出入及び転回できる通路を設置	車いす使用者用席 幅 奥行 仕上材	席 センチメートル センチメートル	適・否
(2) 車いす使用者用に至る通路(1以上)	イ 幅 120 センチメートル以上	幅	センチメートル	適・否	
	ロ 高低差がある場合は、2の(2)のハの(イ)から(ホ)までに定める傾斜路及び踊場を設置			適・否	
(3) 難聴者用席の設置	イ 難聴者の聴力を補うための装置を設置	難聴者用席	席	適・否	

整備項目	整備基準	設計内容	適合状況
9 浴室 (男女の区分がある場合はそれぞれ1以上)	イ 脱衣所及び洗い場の出入口の幅は、内法80センチメートル以上	内法幅 センチメートル	適・否
	ロ 脱衣所及び洗い場の出入口には段を設けない		適・否
	ハ 洗い場及び浴槽には、手すりや腰掛台等を適切に配置	(平面図に位置を記入)	適・否
	ニ 容易に操作できる水栓器具の設置		適・否
	ホ 床面及び浴槽の底は、ぬれても滑りにくい材料で仕上げ	仕上材	適・否
10 更衣室、シャワー室及び洗面所 (男女の区分がある場合はそれぞれ1以上)	イ 手すりや腰掛台等を適切に配置	(平面図に位置を記入)	適・否
	ロ 容易に操作できる水栓器具の設置		適・否
	ハ 床面は、ぬれても滑りにくい材料で仕上げ	仕上材	適・否
11 客室	イ 宿泊施設には下記構造の客室を1以上設置 (イ) 車いす使用者が円滑に利用できるような十分な床面積を確保し、かつ、手すりを適切に設置 (ロ) 5のイに定める基準に適合する便所の設置(客室の外に当該便所がある場合はこの限りでない。) (ハ) 9に定める基準に適合する浴室の設置(客室の外に当該浴室がある場合はこの限りでない。)	車いす使用者に配慮した客室室	適・否
12 受付カウンター及び記載台(1以上)	イ 車いす使用者が円滑に利用できる高さとし、下部に十分な空間を確保	高さ センチメートル	適・否
13 公衆電話機設備(1以上)	イ 車いす使用者が円滑に利用できる高さとし、下部に十分な空間を確保	高さ センチメートル	適・否
	ロ 難聴者及び視覚障害者の利用に対応した公衆電話機を設置	難聴者対応 台 視覚障害者対応 台	適・否
14 券売機(1以上)	イ 車いす使用者が円滑に利用できる高さ	高さ センチメートル	適・否
	ロ 視覚障害者の利用に配慮した表示	表示の有無 有・無	適・否
	ハ 直接地上へ通ずる出入口からロに定める券売機までの通路及び当該券売機から改札口に至る通路に誘導用床材を敷設	(平面図に敷設位置を記入)	適・否
15 改札口(1以上)	イ 幅は内法80センチメートル以上	内法幅 センチメートル	適・否
	ロ 車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けない	段の有無 有・無 最大の段差 センチメートル	適・否
16 休憩所	イ 休憩用の設備を適切な位置に設置(公衆便所、学校等、共同住宅等以外)	休憩所の有無 有・無	適・否
17 授乳およびおむつ替えの場所	イ 3,000平方メートル以上の医療施設及び物品販売業を営む店舗、1日当たりの平均乗降客数が5,000人以上の停車場等並びに保健所等には、授乳及びおむつ替えができる場所を設置	授乳所の有無 有・無 おむつ替えの場所 有・無	適・否
18 案内表示及び非常警報装置	イ 案内表示を設置する場合は、高齢者や障害者が円滑に利用できるよう設置場所及び表示方法等を配慮	案内表示の有無 有・無	適・否
	ロ 非常警報装置を設置する場合は、光、音その他の方法により、視覚障害者及び聴覚障害者に非常事態を知らせることができるものを設置	非常警報装置の有無 有・無	適・否